

第1回学校運営協議会

国分寺東小学校会議室にて

1 日時 令和3年4月21日（水）

2 参加者 学校運営協議会委員

- ・増渕 晴美 （東方台地コミュニティ推進協議会副会長）
- ・大垣 玉枝 （下野市国分寺地区主任民生児童委員）
- ・下山千恵子 （読み語りボランティア団体代表）
- ・諏訪美津枝 （下野市更生保護女性会会長、国分寺地区代表）
- ・吉田 聡 （東方台地コミュニティ推進協議会副会長、柴地区環境保全会幹事、夢くらぶ国分寺副理事長、元PTA会長）
- ・大橋 義一 （東方台地コミュニティ推進協議会幹事、柴地区環境保全会幹事、元PTA会長）
- ・山家 幸勝 （新規：保護者、元PTA副会長）
- ・隅内 宏 （本校校長）

※五十畑 直委員（柴地区環境保全会会計、下野市自然に親しむ会会員）は欠席
地域学校協働推進委員 宮川 長一

事務局 司会 石島 直（本校教頭）、
記録 近江 成美（本校教務主任）、
写真 篠崎 陽一（本校地域連携教員）

3 内容

（1）校長あいさつ並びに委嘱状交付

（2）自己紹介

（3）授業参観

（4）学校運営協議会議事

①会長、副会長選出 会長 増渕 晴美委員 副会長 吉田 聡委員

②令和3年度学校経営方針説明

③協議

④令和3年度学校経営方針承認

（5）事務連絡

（6）主な協議内容

発表者	発言・意見・質問など
校長	・令和2年2月に第3回学校運営協議会で6年生を送る会を見ていただいた直後、新型コロナウイルス感染症による一斉休校が始まった。6月に学校が再開されて、感染症予防対策を第一に当たり前のようにマスクを着用して毎日過ごしている。地域に支えられ、保護者の方にも協力いただき、負担をかけたが、おかげで一人も感染者を出さず3月に修了式を迎えることができた。 ・今年度、世間ではコロナ禍で落ち着かない日々が続く中だが、本校は今のところ大きな問題もなく、子供たちは落ちついたスタートを切れた。 ○学校経営構想について、別紙「学校概要」をもとに説明 ・3年間皆様に支えていただき学校を運営してきた。学校教育目標、それを受けての「めざす児童像」、「めざす教師像」、「めざす学校像」については昨年度と変更はない。 ・本日授業参観で学級及び子供たちを見ていただいた。様々な課題は当然あるが、落ち着いて、素直で優しい子供たちが育っている。 ・児童が学び合うことを主眼に一人一人が意見を出し合ってお互い高め合うことがで

	きるよう学校課題にも位置付けている。地域からの温かい支援、ボランティアの方々との協力などもいただいている。さらに、小中一貫教育も進めており、実践を深めている。 ・本年度の努力点について変更や追加をした。本年度「学習」、「自尊感情」「体づくり」、「キャリア教育」、「教職員」、「地域・家庭」の6つの努力点があるが、特に努力点の2つ目「児童一人一人の自尊感情を育てる」を重点に考えている。キーワードは、「自尊感情、自己肯定感を高める」。自分のよさが分かる、自分に自信をもてることができるようになると、学力の向上や困難にもくじけない勇気をもつこと、新しいことにチャレンジするエネルギーになるなど、全ての源泉になる。よさを伸ばしていくことと、規律やきまりを守ることのバランスを保ちながら、教師として自分の行動は子供たちの自尊感情を高める行動となっているかと自分の指導を振り返ること。「児童と共に歩み、子供たちの自尊感情を育てること」を教職員の目指すこととして、教職員に確認した。 ・具体策の新しく見直した点として、学習については、GIGAスクール構想に伴い、1番下に「タブレット端末を効果的に活用する学習活動」を追加した。児童及び教員一人1台が配布となる。今までの授業が基本だが、これからの未来に必要なものでもある。コロナ禍での登校できない時の学びを保障する際活用するツールにしたい。 現在、設定や準備に時間がかかっている。まずは安全に取り扱う扱い方からはじめ、タブレットの起動や操作を少しずつ行い、授業の中では活用できる場面で使い、記録を残していく。11月位には週末に自宅に持ち帰り、月曜日にもってくるなど、3段階での活用を検討している。一年間で1、2回は本格的に授業で使ってみようという先生方には呼び掛けている。 ・2つ目の自尊感情の「体験活動、異年齢集団活動の充実」については本校の特色でもあり、できることは行っていく。地域の方と相談しながら内容を検討し、できることは実施するとともに、アフターコロナについても活動を充実させたい。 ・3つ目の体づくりの一番下に「新型ウィルス感染予防対策の確立と新しい生活様式の定着」を追加した。現在、首都圏や関西地方において第4波が見られる。教育活動を止めない、継続していくためにも、気持ちを緩めることなく感染症対策をしっかりと行っていきたい。 ※タブレットの紹介とタブレットのしまい方、保障等について補足する。
教頭	・ただいまの校長からの説明を聞き、ご意見や質問をお願いしたい。
委員	○協議 学校経営方針について ・自尊感情を育てることは、当たり前なことだけど難しい。先生方が一丸となって取り組んでいくこと、1年間進めていくことが一番大切であり、うれしく思う。追加項目もあって大変でしょうが、ぜひやっていただきたい。私もできることは協力していきたい。
委員	・前の方が言ったように素晴らしい目標である。自尊感情、生きていく中で自分を認めてくれる、自分自身を認める。小さい頃から大切なことであり、生きていく上で必要なことである。重要項目として考えてくれたことがよい。
委員	・私も同感である。学校は学習を教えてくれるというより、人間を育ててくれるところ。始業式の校長先生の話「人の不幸の上に、自分の幸せを築いてはいけない。」という言葉に感動した。自分の感情を尊重してくれることで人間を育てるということ。困っていることがあれば先生は助けてくれる。そのことを子供たちも分かっている。東小は素晴らしい。
委員	・これまでの委員さんが言いたいことを全て言っていただいた。小中一貫教育、国分寺小は国分寺中と隣接し、東小は中学校から離れている。しかし、子供たちや先生方、

	P T Aが協力しながら色々と実施していただいている。タブレットやコロナ対策なども加わり、さらに過酷な職務であると思う。いつも遅くまで学校の電気がついている。先生方は子供たちのために目一杯取り組んでいる。昔に比べれば子供たちは明るく、明るい東小ができています。先生やP T Aの努力が伝わってきて非常に嬉しい。今後もぜひ協力させていただきたい。
委員	・目標、経営方針、努力点、素晴らしい。これらを先生方一人一人がよく理解し、一丸となって子供たちのために努力してほしい。これまでも感染症対策のために判断をする場面があり今後もあると思われる。
校長	【質問】感染症に対する市の指針はあるのか。 （回答）→文科省や県のマニュアル等を受け、市でもマニュアル等が示されている。マニュアルは適宜改訂されている。学校規模や施設・設備の関係で市で統一ができないことがある。最終的な判断は学校、校長判断となる。
委員	【質問】中学校でのスキー学習中止の事例、P C R検査を受けた等の情報は学校に来るのか。
校長	（回答）→P C R検査を受けたら学校に連絡をと保護者にはお願いしている。学校に情報が入った際、人権上の配慮には十分気を付けている。 ・スキー学習については、スキーに参加する生徒が濃厚接触者となる可能性が否定できず、やむを得ない判断だったと理解している。 ・本校では、先週実施した授業参観後の懇談会で修学旅行について保護者への説明会を行い3つの条件を示した。 1. 参加同意書を取り、10%以上の保護者が不参加となれば延期とする。（現時点では、不参加はない。） 2. 現在の栃木県の警戒レベルが2.5。ステージが3となるとまん延防止措置と同じになる。県知事より福島への移動を控えるという指示が出た場合は延期となるが、そうでなければ実施したい。ステージ4は緊急事態宣言扱いとなり移動自粛になるため、延期せざるを得ない。 3. 校内で陽性者や濃厚接触者が出たらこれまでは学校を2週間休業（出席停止）であったが、個人の出席停止とし、学校を一斉に休むことなく教育活動を実施することになっている。もし、6年生以外の子供が陽性や濃厚接触者となっても、6年生の学級で陽性や濃厚接触者が出ない限りは実施する。6年生で出てしまったら延期となる。 ・最初の判断基準日が5月6日となる。この日までに判断すればキャンセル料が発生しない。昨年度、臨海自然教室にいけなかった6年生なのでなんとか行かせてあげたい。6月が延期になった場合は9月を検討している。説明も前もってできるだけ伝えるようにし、保護者説明会には欠席者もいたので、文書でも発出した。6月に修学旅行を実施する予定なのは市内で3校。関係学校の校長でネットワークを密にして対応を情報交換している。行事に対して、判断基準を前もって伝えることは、保護者の安心を図ることができるので、今後も行事ごとには知らせていく予定である。
委員	・教育目標、方針と大変素晴らしい。努力点として、タブレットの活用や感染症対策を位置付け、行事を中止ではなくやる方向で働きかけているのが素晴らしい。風評被害についてもしっかりとし差別のない学校にしてほしい。
委員	・中学生の娘の習い事の友達が、学校や習い事に行けなくなってしまった。下野市内ではないがサポートするのが難しい。日頃見守りボランティアでお世話になっている。学校をととても身近に感じている。今後もよろしくお願いしたい。
校長	→子供が学校に来られない状況はあってはならないことである。これまでに本校でも学校に来られない児童がいた。様々な手を打っていきたい。感染症については、誰にでも起こりうることであり、悪いのはウイルスである。子供たちには何度も話してい

	るが保護者にもそう思ってもらえるように働きかけていく。 ○学校経営方針の承認について ・貴重なご意見をたくさんありがとうございました。これまでの説明等を聞き「学校経営方針」をご承認いただけますか。
教頭	
一同	
校長	・委員全員、拍手。 ・ご承認いただきありがとうございます。本日いただいた意見をもとにこの方針で、進めていきます。
教頭	○その他
委員	・学校経営方針以外で、何かご意見等があればお願いします。 ・子供たちが安心して学校生活を送るためには、先生方の心の安定が必要である。先生の心が安定していないと子供にいい教育はできない。昨年度の学校評価の意見にもあるように、教職員間の連携についてよくとれていると感じます。若い先生や異動されてきた先生にもしっかりと見て心を配っていただき、心の安定が図れるように対応をお願いしたい。
教頭	・先ほどの委員さんのご意見に遅くまで学校の電気がついているとありましたが、4月については毎日私が最後施錠して帰っている。遅くまで残っているのは、若い先生が多く10時近くまで残ることもある。若い先生方や異動してきた先生方が少しでも学校に慣れ安心して仕事ができるよう、話を聞いたりアドバイス等を行っている。今週は家庭訪問期間でもあり、記録を入力するのに時間がかかっている。先生によっては、聞いてきたことを全て記録しているくらい細かいため、他の先生方も知っておいた方がよいことなどポイントを絞って記録するように話をした。私の今年の退勤時刻目標は18時30分と宣言しましたが、一度も達成していない。これからは達成できるよう頑張りたい。
推進委員	・落ち着いた学校経営方針で、根がどっしりしたものになっている。学校経営方針は校長先生だけでなく、先生や地域の方が支えている。学校運営協議会の委員の皆様が、地域に学校の情報を伝え学校を支えていってほしい。そして地域や家庭等の根っこから吸い上がった言葉や情報を校長先生に伝えていただきたい。そういう根元にいらっしゃる委員の皆様のお力を生かし、双方向で学校のために支えてもらいたい。本日はとても実のある話合いができたと思う。私もお力添えができればと考えている。
教頭	・ありがとうございました。本日、学校経営方針の承認を得たこと、本日の議事録をまとめ、教育委員会に報告させていただきます。なお、議事録については学校のHPにも掲載するのでご覧ください。
校長	○学校運営協議会委員の名前の公開について
	・委員の皆様の名前を公開してもよろしいでしょうか。→（承諾）
教頭	○今後の予定について
	・次回は10／19（火）。児童表彰式の参観と学校が始まって半年位の学校の様子等について協議できればと考えている。 ・3回目 2／22（火）。6年生を送る会の参観、学校評価結果の説明などを考えている。2回目か3回目のどちらかで給食の試食も検討している。 時期が近くなったら開催通知を発送させていただく。